

## 平成31年度(2019年度) 事業報告書

本年度は各事業が滞りなく行なわれるよう基本的な事業を中心に取り組んで参りました。研究助成事業は、サウンド技術振興部門に46件の応募がありその中から10件、また音楽振興部門は18件の応募がありその中から9件に助成金を交付致しました。音楽普及支援等事業は音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘して演奏と特別レッスンを開催致しました。講演会等事業は、研究助成テーマから8件を選んで講演会を開催致しました。機関誌「サウンド」は第35号を発刊し、本年度助成受賞者から6名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めております。調査研究事業はサウンド技術と音楽に関する技術調査を行いました。以下、事業経過の概況をご報告申し上げます。

### 1. 研究助成事業

#### 1) 平成31年度研究助成

平成30年12月より平成31年2月28日までを期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の研究機関及び過去の助成申請者等800件余へ機関誌「サウンド」第34号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果サウンド技術振興部門は39の大学等研究機関より46件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月8日開催の審査委員会にて10件を選定した。音楽振興部門は17の大学等研究機関より18件の応募を得て事前書類審査を踏まえ5月21日開催の審査委員会にて9件を選定した。理事長にこれを報告し承認を得て、6月13日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行った。審査委員は次の通りである。(所属・役職は審査委員会開催時)

#### 【サウンド技術振興部門】

審査委員長	中島 隆之	(社)電子情報通信学会フェロー
審査委員	安藤 繁	東京大学名誉教授
	橘 秀樹	東京大学名誉教授 (審査委員会欠席)
	谷萩 隆嗣	信号処理学会会長 工学博士
	山本 裕	京都大学名誉教授

(50音順)

#### 【音楽振興部門】

審査委員長	渡邊 健二	東京藝術大学教授
審査委員	河合健太郎	株式会社河合楽器製作所専務取締役 (コラボ分野参加)
	徳丸 吉彦	お茶の水女子大学名誉教授
	西原 稔	桐朋学園大学教授

(50音順)

助成受賞者は次の通りである。(所属・役職 は申請当時、応募受付順)

【サウンド技術振興部門】

- (1) 割り箸を用いた訓練による発声改善のメカニズムの調査  
甲南大学知能情報学部知能情報学科  
准教授 北村 達也
- (2) ヴァイオリンの振動および音響放射のマルチフィジックスシミュレーション  
明星大学情報学部  
准教授 横山 真男
- (3) 管楽器の大規模流体音響解析  
九州工業大学大学院情報工学研究院  
教授 高橋 公也
- (4) オーボエ演奏での唇リード間の力とアンブシュア筋活動の解析  
桜美林大学芸術文化学群  
助教 平野 剛
- (5) 大規模単一細胞解析の普及へ向けた音響型細胞整列マイクロ流路プラットフォームの構築  
東京大学理学系研究科化学専攻  
特任研究員 磯崎 瑛宏
- (6) 超音波霧化による生理活性物質の濃縮  
名古屋大学大学院工学研究科化学システム工学専攻  
准教授 安田 啓司
- (7) 高周波超音波を利用するマイクロバブル水浄化技術の開発  
大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科  
教授 興津 健二
- (8) キンカチョウにおける嗜好性音響の認知・生成・機能  
東北大学大学院生命科学研究科  
助教 田中 雅史
- (9) 楽器の指向性と残響音の到来方向を反映したアコースティック楽器練習室用ホール残響付与システムの開発と評価  
神戸市立工業高等専門学校電子工学科  
准教授 長谷 芳樹
- (10) 楽 ALS 患者のための自声を用いたコミュニケーション支援システム  
— 患者と家族の QOL を目指して —  
芝浦工業大学工学部共通学群英語科目  
教授 石井 朱美

【音楽振興部門】

- (1) グレゴリオ聖歌の新リズム研究 — 融化現象に着目して

エリザベト音楽大学

専任講師 佐々木 悠

- (2) サルヴァトーレ・シヤリーノのフルート独奏作品集の CD 制作によるフルートの特殊奏法および特殊音響についての研究

沖縄県立芸術大学音楽学部音楽表現専攻第2学科

助教 若林 かをり

- (3) 日本所蔵の七絃琴楽譜の善本《歩虚僊譜》に関する基礎的研究

東京藝術大学

非常勤講師 鳥谷部 輝彦

- (4) 伊勢神宮の神楽《烏名子舞》に関する研究 — 継承システム構築からの視点 —

鹿児島大学教育学部

准教授 今 由佳里

- (5) 楽器製作とアンサンブル体験が生み出す教育的効果 — 技術科教育と音楽科教育の教科連携プロジェクトから —

琉球大学教育学部岡田研究室

准教授 岡田 恵美

- (6) 『二十五絃箏の可能性: 音響学的研究と研究に基づいた作品分析』

千葉商科大学

非常勤講師 伊藤 美由紀

(以下、コラボ分野受賞者)

- (7) 「歌」「ピアノ」「馬頭琴」「ヤトガ(モンゴル琴)」のコラボレーションによる新しい音楽の創造

グループ「JUNじゅんバトかいな？」

アヨーシ・バトエルデネ

- (8) 西洋と東洋の音楽の邂逅 : 尺八とピアノの場合 コラボレーションの成功の鍵は？

グループ「カンデラ」

ブルース・ヒューバナー

- (9) ピアノと北欧・ケルト伝統楽器によるオリジナル楽曲の創造および実演

グループ「ティブシプーカ」

高梨 菖子

## 2) 助成研究成果報告概要の配信

平成30年度助成受賞者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

## 3) 2020年度研究助成募集活動

2019年12月より2020年2月29日を締切日（音楽振興部門コラボ分野は5月7日締切）とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成

申請者等に対して募集活動を実施した。

## 2. 音楽普及支援等事業

### 1) 第10回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的にピアノ講師を招聘して講演とレッスンを行った。概要は以下の通りである。

名 称 ナターリア・トゥルーリ ピアノ講演・レッスン  
開催日 2020年2月21日、22日、23日  
会 場 カワイ表参道 3階 スタジオA  
講 師 ナターリア・トゥルーリ  
受講者 15名  
受講費 無料

## 3. 講演会等事業

### 1) 研究助成受賞者講演会（第36回研究助成講演会）

開催日 2019年11月14日（木）  
会 場 カワイ表参道 2階 パウゼ  
聴講者 86名  
受講費 無料  
後 援 経済産業省、カワイ音楽振興会  
演 題 研究助成テーマより（講演順）

【音楽振興部門】平成31年度研究助成テーマ

ピアノと北欧・ケルト伝統楽器によるオリジナル楽曲の創造および実演

グループ「ティプシプーカ」 高梨菖子

【音楽振興部門】平成31年度研究助成テーマ

西洋と東洋の音楽の邂逅：尺八とピアノの場合 コラボレーションの成功の鍵は？

グループ「Bright Ones, Dark Ones」 ブルース・ヒューバナー

【音楽振興部門】平成31年度研究助成テーマ

「歌」「ピアノ」「馬頭琴」「ヤトガ(モンゴル琴)」のコラボレーションによる新しい音楽の創造。

グループ「JUN じゅんバトかいな？」 アヨーシ・バトエルデネ

### 2) 研究助成受賞者講演会（第37回研究助成講演会）

期 日 2019年12月12日（木）  
会 場 アクトシティ浜松研修交流センター 6階 62研修交流室  
聴講者 84名  
受講費 無料  
後 援 経済産業省、浜松市、浜松商工会議所  
演 題 研究助成テーマより（講演順）

【サウンド技術振興部門】平成 26 年度研究助成テーマ

「超音波の放射力による非接触搬送システムの開発」

同志社大学理工学部教授

小山 大介

【音楽振興部門】平成 29 年度研究助成テーマ

「伊勢大神楽と地域環境が生み出すサウンドスケープに関する分析的研究」

国立民族学博物館機関研究員

神野 知恵

【サウンド技術振興部門】平成 29 年度研究助成テーマ

「小中学校教員と連携して開発する音楽科授業におけるITC機器を活用したActiveLearningのモデルプラン～ICレコーダーを「音の鏡」として、「気づく・感じ取る・比べる・考える・まとめる・伝える活動」により音楽的自立をめざす活動～」

愛知教育大学創造科学系(音美体技家)学系長・音楽教育講座教授

新山王 政和

【サウンド技術振興部門】平成 30 年度研究助成テーマ

「人の感性に基づく人工知能による進化的楽曲自動生成システムの提案」

大阪府立大学工学研究科教授

森 直樹

【サウンド技術振興部門】平成 30 年度研究助成テーマ

「そのピアノは、感動を与えているか？ - 人体に与える影響を、非侵襲的に定量診断」

東北大学加齢医学研究所教授

山家 智之

4. 情報の提供等事業

平成 31 年度研究助成受賞者である九州工業大学大学院教授高橋公也氏、東京大学理学系研究科特任研究員磯崎瑛宏氏、東北大学大学院生命科学研究科助教田中雅史氏、沖縄県立芸術大学音楽学部助教若林かをり氏、鹿児島大学教育学部准教授今由佳里氏、琉球大学教育学部准教授岡田恵美氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第 36 号を編集し 2020 年 1 月発行。大学等関係機関、国立国会図書館、過去の助成申請者等 750 件余へ配布した。

5. 調査研究事業

サウンド技術に関する技術情報の調査を行った。

6. 評議員会・理事会等の開催

1) 第 26 回理事会

(1)期日及び場所

令和元年（2019年）5月16日（木）カワイ表参道

(2)附議事項

第1号議案 平成30年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する件

第2号議案 平成31年度収支予算の修正に関する件

第3号議案 評議員会招集に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3)議事進行要約

①第1号議案から第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 鷲津 有一氏

2)第10回評議員会

(1)期日及び場所

令和元年（2019年）6月13日（木）東京ガーデンパレス

(2)附議事項

第1号議案 平成30年度事業報告(案)・収支計算報告(案)の承認に関する件

第2号議案 平成31年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件

第3号議案 評議員、理事、及び監事選任に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3)議事進行要約

①第1号議案、第2号議案、第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については議長が提案を行い、異議なく全会一致で選任され、両評議員もこれを了承された。

議事録署名人 宮澤 彰氏 村上陽一郎氏 (50音順)

なおこの折り平成31年度研究助成金の贈呈式を併催した。

3)定款第35条に基づく決議提案（第27回理事会）

(1)提案

第1号議案 代表理事選定の件

議案内容 代表理事1名の選定提案。代表理事候補者は次のとおり。

代表理事候補者 河合 弘隆

第2号議案 業務執行理事選定の件

議案内容 業務執行理事1名の選定提案。業務執行理事候補者は次のとおり。

業務執行理事候補者 北村 実音夫

- 第3号議案 河合楽器株主議決権行使承認の件  
議案内容 2019年6月26日開催の株式会社河合楽器製作所第92期定時株主総会における全ての議案に財団所有の同社株主議決権を行使し（賛）を投ずる。株主総会議案は次のとおり。
- 第1号議案 余剰金の配分の件  
第2号議案 取締役10名選任の件  
第3号議案 監査役2名選任の件  
第4号議案 補欠監査役1名選任の件  
第5号議案 当社株式の大規模買付行為に関する対応方針（買収防衛策）の件

## (2) 結果

第1号議案、第2号議案、第3号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、令和元年6月13日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案、第2号議案、第3号議案は可決されたとみなされた。

## 4) 定款第35条に基づく決議提案（第28回理事会）

### (1) 提案

第1号議案 2020年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件  
議案内容 2020年度の事業計画(案)は研究助成事業、音楽普及支援等事業、講演会等事業、及び調査研究事業を主体とするもの。2020年度の収支予算(案)については2019年度の決算確定に伴い一部修正が生じ、その措置については理事長へ一任することを了承する。

第2号議案 研究助成審査委員の選任に関する件  
議案内容 研究助成審査委員（サウンド技術振興部門）の選任について、次の候補者をお諮りする。  
審査委員候補者 坂本慎一氏

## (2) 結果

第1号議案、第2号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、令和2年3月18日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案、第2号議案、第3号議案は可決されたとみなされた。なお理事会冒頭で平成31年度（2019年度）事業経過概況報告書を行った。

## 7. 庶務事項

### 1) 内閣府への提出書類

令和元年（2019年）6月19日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

- ①実施事業（公益目的事業）の状況等
- ②公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて
- ③当該事業年度の貸借対照表及び附属明細書
- ④当該事業年度の損益計算書及び附属明細書
- ⑤当該事業年度の事業報告及び附属明細書
- ⑥当該事業年度の監査報告、会計監査報告
- ⑦当該事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告
- ⑧当該事業年度の正味財産増減計算書内訳表